

土家由岐雄先生 七回忌記念 童句大会

七月三日、童句翁・土家由岐雄先生七回忌記念童句大会が、狭山台公民館で開かれました。七月三日は、童句創始者・土家由岐雄先生の命日にあたり、「童句翁忌」と名づけております。市内の童句の学習団体や、東京都あきる野市、新所沢の童句振興協会会員も多数参加、まず全員で黙祷をして、選句者二十六名で応募総数百五十五句の互選会に入りました。

互選会の席上、土家先生のご息女だいくす朋子様からお父様の思い出や、先生が生前より念願されていた童句集『除夜のかね』がこの度出版されたことなどのお話があり、なごやかな懇親会になりました。

結果、特選三句、入選十一句を決定、広沢一岐先生より選評があり、副賞の図書券が贈られました。

(狭山童句研究会会長 渡川 誠)

(特選句)

花こぶし グーチヨキパーと 開き初む

狭山市 小野里 洋子

丸まって かくれたつもり だんご虫

東京都大田区 山本 たけし

新築の 貸家につばめ 先に住み

東京都あきる野市 齋木 正人

----- さやま・文化の息吹 -----

うるおいきもの文化普及会

川口 芳子(代表)

世の中の流れが速すぎて、本来の人間性が失われていくようで、身近にある古来の着物に教えられることが多いことに気がつきます。家庭における女性の役割りと、今欠けている子供の情操教育に、母のきもの姿は無言の教育だと信じ、次代にきもの教育を伝授出来る人を一人でも多く育成したいとの思いで、地域に根ざした「うるおいきもの文化普及会」を発足させました。

この会は、五つの目的をもって意識を高めあい、地域で文化活動を行うことと、よりよい人間関係を築くことを目的としたものです。

会員は、きもの着装・礼法・マナーの講師をもって組織し、各種の学校・同好会講習会・学習会等で広く会員を募り、目的達成のために人とのつながりを大切に行っています。記念公演は3年毎に5回、狭山市市民会館小ホールにて行い、また20周年の節目には、平成10年に「限りなき未来に向けて」--きものと共に20年--と題して大ホールにて行い、会員参加を呼びかけました。

今年度の活動計画の中で、6月には七夕祭りを前にゆかた研修会を行い、無料きもの貸出しが好評でした。また、6月11日には産地見学、秩父銘仙織物体験を行いました。11月下旬にはお正月を前に受け継がれた日本の伝統行事の礼儀作法・マナーなど体得することを計画しています。大勢の参加・加入をお待ちします。



(有)ミネ五十子印刷

狭山市狭山14-8

: 2952 - 2701

須釜電機(株)パナピットスガマ

近くて便利、あなたの街のでんきやさん

狭山市狭山20-1

: 2954 - 3939